



KEIO SPORTS SDGs

シンポジウム 2024

2030年のその先へ、
スポーツの新たな価値を考える。

2024 3.9 sat.

13:00~17:00(開場12:30)

▶会場

慶應義塾大学
日吉キャンパス
独立館DB203教室

▶定員

200名

※後日、講演動画を配信予定
(申込者への期間限定公開)

▶参加費 無料



Play Us. Play Universal.

▶参加申込方法

Peatixでの事前申込
(<https://keiosportssdgs.peatix.com/>)



●問い合わせ先

慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター
電話:045-566-1090 FAX:045-566-1067
e-mail:keiosportssdgs@gmail.com

主催:慶應義塾大学

担当:KGRI 慶應スポーツSDGsセンター(SU) スポーツ医学研究センター
大学院健康マネジメント研究科 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
体育研究所 SFC研究所 xSDG・ラボ 医学部 スポーツ医学総合センター
グローバルリサーチインスティテュート

後援:スポーツ庁 厚生労働省 神奈川県 藤沢市 横浜市にぎわいスポーツ文化局
横浜市スポーツ協会 健康・体力づくり事業財団 笹川スポーツ財団
日本健康運動指導士会 慶應ラグビー倶楽部 ヨコハマSDGsデザインセンター
神奈川県立産業技術総合研究所

より
スポーツ
どこでも
だれでも
いつでも
に



Sport in Life



Keio University
Tokyo, Japan



Keio University



1858
CALAMVS GLADIO PONTIFEX

慶應義塾は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

企画概要

KEIO SPORTS SDGsは、2018年6月に世界保健機関(WHO)が「Global Action Plan on Physical Activity 2018-2030, GAPP」を発表したことを契機に、東京オリンピック・パラリンピック2020を見越して、2019年に塾内外のステークホルダーが集まり設立された。その後も、持続的に塾内を横断し、幅広い領域で自治体や企業などと連携し、スポーツ・身体活動を促進するプロジェクトを実施している。本年度は今後の本格センター化を見据え、2030年以降の10年間にわたるKEIO SPORTS SDGsの方向性を検討してきた。本シンポジウムでは、2023年度のKEIO SPORTS SDGsの進捗報告、具体的取組の共有を行うとともに、2つのセッションを通じ、KEIO SPORTS SDGsの新コンセプトを共有し、持続可能なスポーツの新たな価値について考え、多様なステークホルダーとの連携を深める機会とする。

講演

今後KEIO SPORTS SDGsの目指すところ

スポーツ医学研究センター健康マネジメント研究科 准教授 小熊 祐子



セッション① パブリックヘルスの視点から見るスポーツSDGs

スポーツ・身体活動の実践を
社会で広げるためには？
:身体活動促進の科学

東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻
健康教育・社会学分野 講師

鎌田 真光



健康になる技術
一どうすれば人は体を動かす
ようになるのか

慶應義塾大学グローバルリサーチイン
スティテュート 特任准教授
Down to Earth 株式会社代表取締役
Down to Earth BEYOND HEALTH株式会社
代表取締役

林 英恵



●モデレーター

スポーツ医学研究センター健康マネジメント研究科 准教授 小熊 祐子 日本体育大学 スポーツマネジメント学部スポーツライフマネジメント学科 准教授 齋藤 義信

セッション② 慶應義塾とスポーツSDGs

地域との協生を目指す
横浜慶應チャレンジャー
国際テニス大会

慶應義塾大学体育研究所 教授

坂井 利彰



慶應義塾体育会野球部の
スポーツSDGsに関する取組

慶應義塾体育会野球部 監督

堀井 哲也



●モデレーター

スポーツ医学研究センター健康マネジメント研究科 教授 研究科委員長 石田 浩之 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 神武 直彦

オンライン特別講演 事前配信

Evaluating systems
approaches to tackling
sports and physical
activity inequalities

Senior Research Fellow, College of
Health, Wellbeing and Life Sciences,
Sheffield Hallam University
Principal Investigator for the Sport England
National Evaluation and Learning Partnership
Transforming Place Theme Lead, Advanced
Wellbeing Research Centre.

Dr Katie Shearn



SDGsへの変革加速へむけて
スポーツの出来ること

政策・メディア研究科 教授
SFC研究所xSDGラボ代表

蟹江 憲史

